



令和3年度 学校だより

北醍醐9月号



令和3年8月31日
京都市立北醍醐小学校
校長 城野 健司
TEL : 075-572-5353

＜学校評価アンケート結果特別号＞

＜令和3年度 学校教育目標＞

仲間と未来を創造し 自ら挑む子どもを育てる

～ やる気 粘り強さ、思いやりの心 ～

＜目指す子ども像＞

- ◎自分の思いを表現できる子（はなす かく）
- ◎他者と協働し行動できる子
- ◎命を大切にできる子（生き方・人権・生命）
- ◎挑むことができる子

令和3年度第1回「学校評価アンケート」に ご協力いただきありがとうございました。 結果をご報告いたします。

本校教育活動について第1回目の学校評価アンケートを実施させていただきました。今年度より、インターネットを活用した回答を導入させていただきましたが、保護者の皆様にはご理解とご協力を賜り、学校評価アンケートを実施することができました。有難うございました。

子どもたちの学びと育ちの状況をしっかり把握したうえで、さまざまな取組の成果や課題を振り返り、家庭・地域も含めて共有していくことで、さらなる改善へとつなげていきたいと考えています。

児童、保護者、教職員へのアンケート11項目を集計し、「よくできている」「大体できている」を合わせ＜実現度＞として示させていただきます。

これからも、北醍醐の子どもたちが「やる気 粘り強さ、思いやりの心」をモットーに、人との関わりの中で成長している自分に気づき、お互いを大切にすることの喜びを感じ、目標をもってさらに自分を高めていけるよう教職員一同、子どもたちに寄り添っていきたいと思います。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で
『子どもを共に育む京都市民憲章』を実践しましょう！



この印刷物が不要に
なれば、「雑がみ」と
して古紙回収等へ！



R3 第1回「学校評価アンケート」結果

児童	実現度	保護者	実現度	教職員	実現度
①学校に行くのは楽しい。	93.4%	①お子さんは、安心して楽しく学校に通っている。	96.7%	①「目指す子ども像」を意識して取り組み、児童が安心して活動できるよう教育活動を進めている。	100.0%
②友だちにやさしくし、仲よく学習したり活動したりしている。	95.4%	②お子さんは、友だちにやさしくし、互いに気もちよく関わり、仲よく学校生活を送っている。	95.8%	②互いを大切にする子どもの育成を目指し、「～さんで呼ぶ」「正しい言葉遣い」等を指導し、児童の身についてきている。	93.8%
③自分からあいさつしている。	86.2%	③お子さんは、家や地域で進んであいさつしている。	73.3%	③進んで挨拶するような指導や褒める評価をし、子どもは意欲的に活動するようになってきている。	92.9%
④困ったときや分からないときなどは、先生に相談している。	76.3%	④学校は、子どもについて気軽に相談でき、適切にに応じてくれる。	91.7%	④子どもや保護者の相談に適切に応じられている。	92.3%
⑤授業では、めあてを意識して学習し、わかったこと、わからなかったことをふりかえっている。	84.9%	⑤お子さんからは、授業で積極的に学ぼうとする様子がうかがえる。	81.8%	⑤ねらいを明確にし、教える事と児童が主体的に活動する事を計画し、児童の身についてきている。	90.9%
⑥学校や家で、自分から読書している。	75.7%	⑥お子さんは、読書に親しんでいる。	58.5%	⑥読書や図書の活用を意図的に指導し、児童自らが進んで読書活動をするようになってきている。	58.3%
⑦家で学年に合った家庭学習をしている。（1年生15分、2年生30分、3年生45分、4年生60分、5・6年生60分～90分）	71.1%	⑦お子さんは、「15分×学年（5・6年生は60分～90分）」の家庭学習（宿題）の習慣が身についている。	67.8%	⑦授業と家庭学習を連動させた課題や、読書活動を位置つけた家庭学習の充実に取り組んでいる。	72.7%
⑧学校のきまりや交通のルールを守っている。	94.7%	⑧お子さんは、学校のきまりや安全のルールを意識し、守っている。	96.7%	⑧きまりや安全のルールを守ることが行動化され、児童に定着してきている。	85.7%
⑨毎日、決まった時間に早ね早おきをし、顔をあらって歯みがきをし、朝ごはんを食べて登校している。	91.4%	⑨お子さんは、十分な睡眠をとり、早起き、洗顔、歯みがきをし、朝ごはんを食べるなど基本的な生活習慣が身についている。	93.3%	⑨基本的習慣や自らの健康・命を守る意識の高揚と行動化に取り組み、児童の身についてきている。	100.0%
⑩学校では、安全に気をつけて安心して活動している。	94.7%	⑩学校は、安全面における適切な配慮をしている。	96.7%	⑩ルール遵守や危険予測の指導を進め、自ら判断し適切に行動できる力や、社会的な規範意識の高揚に取り組み、児童に定着してきている。	83.3%
⑪下級生に優しく接することや、自分が上級生になっていくことを楽しみにしている。	92.8%	⑪お子さんは、下級生を大切にしたり、上級生と仲よくしたりしている。	88.4%	⑪児童は、縦割り活動を中心に仲間を大切にしたり、下級生に優しくしたりしている。	75.0%

＜今後も伸ばしていきたいこと＞

今年度もコロナ禍で新学期がスタートし、学校生活や学習の形態は新しい生活様式に合わせて変化してきています。そのような中、児童のアンケート結果を見ると全般的に昨年度よりも上回っているところが多くみられました。たとえば「①学校に行くのは楽しい。」「②友だちにやさしくし、仲よく学習したり活動したりしている。」「⑩学校では、安全に気をつけて安心して活動している。」「⑪下級生に優しく接することや、自分が上級生になっていくことを楽しみにしている。」などの項目の結果からは、これまでの当たり前の生活が当たり前でなくなってきた世の中に気づき、友だちと一緒に過ごせることの喜びを感じ、相手を思いやる気持ちなどを自ら育もうとしていると受け取ることができます。子どもたちが感じているそのような思いを大切に受け止め、今後も寄り添いながら、大切に教育活動を進めてまいります。

授業に臨む姿勢を問う項目「⑤授業では、めあてを意識して学習し、わかったこと、わからなかったことをふりかえっている。」では、1時間の授業のめあてを意識して学習に取り組み、学習を通して何がわかったのかを毎時間振り返る学習の形態がどの学年にも定着してきていることが伺えます。毎時間の成長を感じることは、学習意欲や成果の向上につながります。これからも、1時間1時間の学びを大切に、学習を進めてまいります。



＜さらに取り組むべき課題＞

項目「⑥学校や家で自分から読書をしている」においては、北醍醐小学校の児童は、概ね読書に興味をもち進んで読書をしようとする姿が学校では見られます。それは、読書ができる時間と環境が自然に整っているからだと思います。（家庭における日常生活では、読書以上に子どもたちが興味や関心を寄せるモノや出来事があったり、日常の忙しさから読書を楽しむ時間が無かったりする場合があると考えられる。）そのような学校生活の環境を活かし、今後も読書への関心が高まる取組（現在は教職員のおすすめ本紹介など）を継続することで、生涯にわたる読書習慣を培いたいと思います。ご家庭におかれましても、それぞれの発達段階に応じた読書への興味づけや環境づくりをお願いいたします。



項目「⑦家庭学習（宿題）」に関わる設問においては、7割の児童が、目安の時間で家庭学習に取り組んでいると回答しています。また、7割弱の保護者の方々が、家庭学習の習慣が身についていると回答されました。この結果を更に高めることは当然ですが、各学年では、その家庭学習の時間の使い方に焦点を当て、更に充実した家庭学習となるよう工夫してまいります。特に、高学年においては、中学校への進学を見据えて、自ら計画的に家庭学習を進めることができる力を培ってまいります。また、2学期は高学年からICTを活用した家庭学習にも取り組んでまいります。

項目「⑪上級生や下級生とのつながり」に関わる設問においては、教職員の実現度が昨年度に比べて下回っています。これは今年度も感染予防対策を考えながら、たくさんの方の学校行事が中止になり、異学年間の交流が持ちにくい状況にあり、教育活動を進める中で、目指す姿に迫れないという状況にあるからです。今後も状況を適確にとらえて、できることをできる方法で取り組み、子どもたちの自己実現を支援してまいります。

～学校生活全体に関わる貴重なご意見をいただきました～

本年度も学校アンケートにご協力いただき有難うございます。また、ご意見やご感想をお寄せいただき重ねてお礼申し上げます。ここでは、学校教育活動全般に関わる内容に対しての回答を記載いたします。個別の内容につきましては、別途ご相談や対応をしておりますのでご承知おきください。

【コロナ禍におけるマスク着用について】

休み時間や体育の時間など、体を動かす時にはマスクを外す指導を継続し、子どもたちの体調管理には気をつけてまいります。また、一定の距離をとることができる場面や声を出さない約束ができる場面でも、可能な場合はマスクを外すという声かけをしております。

【GIGA スクール構想について】

子どもたちに一人1台の端末が整備でき、インターネット環境も整備されて、この1学期でその扱い方や校内での約束を指導してきました。子どもたちは、それぞれに割り振られたユーザーIDを入力してログインし、端末やソフトの操作にも随分慣れてまいりました。特に、高学年では、様々な教科（国語・社会・算数・理科・体育・英語・図工など）や活動で端末を活用した学習に取り組んだり、デジタルドリルで個別の学習を進めたりしてきました。

一方、低学年の子どもたちにおいても、段階を踏みながら様々な操作を経験したり、文字入力に挑戦したりしてきています。また、2学期からは、約束事を丁寧に指導した後、高学年は端末を家庭に持ち帰り、家庭学習や宿題などにも活用する予定をしています。しかしながら、子どもたちの健康を考えた場合、極端な端末利用時間の急増は避けたいと考えます。そして低学年は、紙ベースで文字をしっかりと読んだり、計算に取り組んだり、鉛筆で丁寧に文字を書いたりという基本を繰り返し身につけることを優先しつつ、端末を有効利用するハイブリットな学習方法を模索したいと考えています。

今後、GIGA スクール構想は速いスピードで進展し続け、子どもたちの学習スタイルや生活様式に大きな変化をもたらすことが予想できます。しかし、どのような変化が起きたとしても、保護者の皆様のご理解やご協力が無くては、子どもたちにとって有益なものにはならないと考えます。学校としましては、いろいろな方法で、その時々状況をお伝えしてまいりますので、ご支援を賜りますようお願いいたします。

【登校班について】

リーダーを中心に、登校班のみんなで安全に登校できるよう指導を繰り返してまいります。各ご家庭でも、みんなの安全が守れるよう一人一人が協力することをご指導いただけると有難いので、お声かけをお願いいたします。



【体育学習の見学にかかわる内容について】

水分補給や高温を避ける等、子どもたちの安全や健康を第一に最大限の配慮をしております。状況によっては、見学をせず、他の学習（読書やワーク）に代替えることもあり得ますのでご了解ください。

お忙しい中、アンケートの回答並びにご意見を頂戴し感謝申し上げます。子どもたちにとって、少しでも有意義な学校生活となるよう工夫や改善に取り組んでまいります。また、このほかにも、激励やお褒めの言葉を頂戴しております。今後の教育活動の励みにしてまいります。

ご協力ありがとうございました。